

令和 6 年 9 月 4 日
土木部交通安全自転車課

区レンタサイクル事業のあり方検討の中間まとめについて

1 主旨

区では平成 8 年度から展開してきたレンタサイクル事業について、「新たな行政経営への移行実現プラン」にある「レンタ・コミュニティサイクル事業の再構築」に基づき、あり方等の検討を進めてきた。

今般、本事業の運用を継続する上の課題を踏まえた区レンタサイクル事業の今後の運営のあり方について中間まとめとしてとりまとめたため報告する。

2 区レンタサイクル事業施設

- (1) 区レンタサイクルポート（2 か所）
- (2) 区コミュニティサイクルポート 通称：I H I がやリン（5 か所）
- (3) 運営法人：（1）（2）ともに公益社団法人世田谷区シルバー人材センター
指定管理期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日（5 年間）

3 区レンタサイクル事業等の現状

これまで区レンタサイクル事業は、放置自転車の抑制、自転車総量の抑制、駐輪場需要の適正化、南北交通の補完等、自転車移動の利便性向上を目的として事業を行ってきた。

しかしながら、自転車総量の抑制、南北交通の補完等自転車移動の利便性向上については、区レンタサイクル事業の効果は限定的であったことから、令和 2 年度より 4 年間、民間シェアサイクルの実証実験を実施した。その結果、民間シェアサイクル事業は、自転車総量の抑制、南北交通の補完といった区の機能を補完できるものと判断し、令和 6 年度より官民連携の手法を用いた自転車利用の取り組みを本格実施している。

また、民間シェアサイクル事業の利用者が増加しているものの、区レンタサイクル事業の令和 5 年度一月当たりの平均利用者数は 6, 6 0 7 人で、民間シェアサイクルの実証実験を開始した令和 2 年度から横ばいの状況にあり、現在は、区レンタサイクル事業と民間シェアサイクル事業を並行運用している。

それぞれの事業の運営においては課題があり、事業のあり方を検討する必要がある。

4 区レンタサイクル事業のあり方検討中間まとめ（別紙のとおり）

【検討の方向性】

区レンタサイクル事業の継続には高額な経費を要することを鑑み、I H I がやリンポートのシステムサーバが停止する令和 7 年度末をもって、区レンタサイクル事業の運営を廃止することを目指し、民間シェアサイクル事業とのサービスの違いに伴う区レンタサイクル事業利用者への影響などの課題の整理に取り組み、令和 6 年度末に区レンタサイクル事業のあり方をまとめる。

5 当面の区レンタサイクル事業の経費縮減に向けた対応

(1) 区レンタサイクルポートの運用停止

現在、設備機器の故障により規模を縮小し運用している三軒茶屋北及び運用を休止している成城北第二の区レンタサイクルポートは、運用を継続するためには高額な設備更新費用を要するため、一部の代替機能の確保に取り組み、令和6年度末をもって運用の停止を目指す。

(2) I H I がやリン維持管理費の軽減

I H I がやリン5ポートについては、各ポートの利用状況を踏まえた自転車管理台数の見直しを行い、令和7年度の維持管理費用の軽減を行う等の経営の健全化を図る。

6 今後のスケジュール

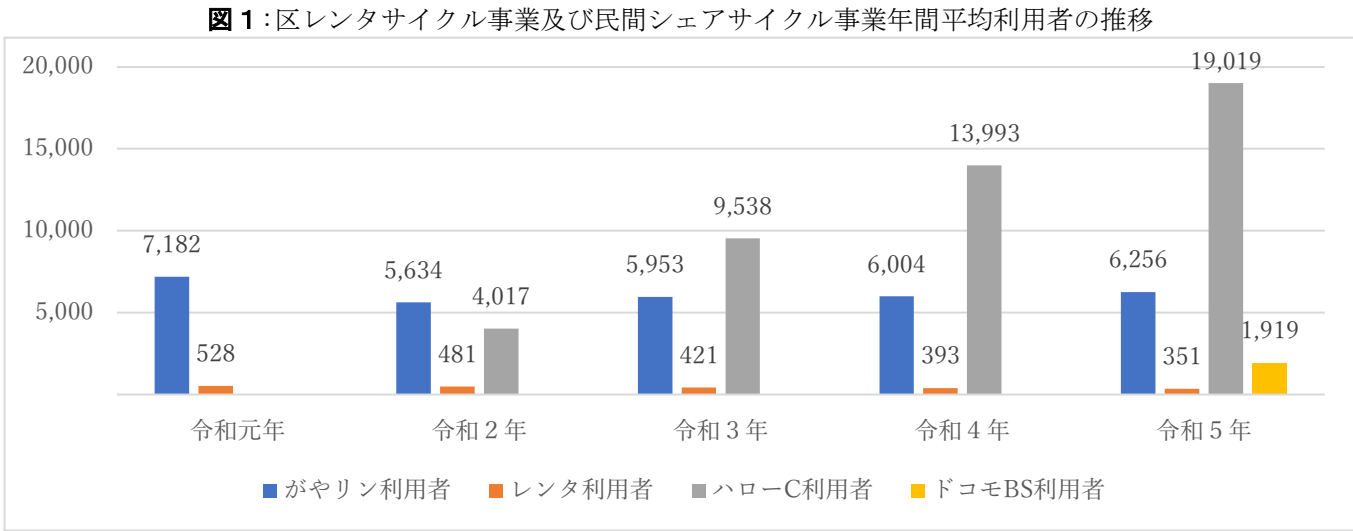
令和6年11月 自転車等駐車対策協議会

令和7年 2月 公共交通機関・バリアフリー対策等特別委員会（あり方検討まとめの報告）

区レンタサイクル事業のあり方検討中間まとめ

1 区レンタサイクル事業等の現状

- (1) 民間シェアサイクル事業の利用者は令和2年と令和5年比で約3.4倍に増加
- (2) 区レンタサイクル事業の利用者は近年横ばいで推移
- (3) 現在、区レンタサイクル事業と民間シェアサイクル事業を並行運用している



2 区レンタサイクル事業の運営及び民間シェアサイクル利用の課題

(1) 区レンタサイクル事業の経済面における課題

- ①高額なランニングコストから、運営に年間約3千万円の赤字が発生している。

表1:区レンタサイクル事業の区収支状況の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度予定
区歳入	¥6,049,031	¥4,689,972	¥6,197,660	¥4,382,894	¥5,248,916	¥3,644,650
区歳出	¥77,616,324	¥38,374,838	¥35,952,216	¥37,709,272	¥42,141,102	¥35,451,360
区収支	¥-71,567,293	¥-33,684,866	¥-29,754,556	¥-33,326,378	¥-36,892,186	¥-31,806,710

- ②老朽化著しい三茶北・成城北第二レンタの運用継続には設備更新費用が必要。
- ③令和7年度末にIHIがやリンのシステムサーバ停止が予告されている。

運用を継続するにはサーバの移転及びシステム改修費用に新たな支出が必要。

(2) 区レンタサイクル事業と民間シェアサイクル事業の料金制度等の違いによる課題

- ①区の定期利用者のうち、料金の減免(学生・障害者)及び免除(生活保護受給者)

措置を受ける利用者が一定数存在している。

表2:R5年度区レンタサイクル事業定期利用者の内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定期(一般)	958	963	971	951	987	952	982	924	898	950	896	898
定期(学生)	172	181	168	178	142	183	166	168	136	153	133	130
定期(障害者)	28	26	23	23	22	19	31	23	21	23	25	23
定期(生活保護受給者)	8	8	5	6	7	9	6	6	3	9	9	11
合計	1,166	1,178	1,167	1,158	1,158	1,163	1,185	1,121	1,058	1,135	1,063	1,062

- ②区レンタサイクル事業と民間シェアサイクル事業とでは、定期制度導入の有無や料金制度の違いがある。

表3:各事業別の定期利用料金比較

	区レンタサイクル事業		民間シェアサイクル事業	
	レンタサイクル	IHIがやリン	ハローサイクリング	ドコモ・バイクシェア
定期利用	2,200円/月		なし	3,300円/月(※)

※ 初乗り30分以内は基本料金内。以降30分毎に165円追加

- ③民間シェアサイクル事業はスマートフォンのアプリケーション利用が必須であり、主な決済方法がクレジットカードとなっている。

表4:各事業別の決済方法比較

決済方法	区レンタサイクル事業	ハローサイクリング	ドコモ・バイクシェア
現金・交通系IC	○	×	×
QRコード決済	×	△	×
クレジット	×	○	○
携帯キャリア決済	×	○	△
独自の電子マネー	×	○	×

○:対応 △:一部対応 ×:非対応

3 今後の区レンタサイクル事業のあり方検討の方向性

- (1) IHIがやリンのシステムが停止する令和7年度末の区レンタサイクル事業の廃止を目指す
- (2) 課題の整理に取り組み、令和6年度末に区レンタサイクル事業のあり方をまとめる